一般国道11号 大内白鳥バイパス
事業再評価
（要点審議）
平成30年7月31日

国土交通省四国地方整備局
一般国道11号 大内白鳥バイパス

事業の目的

国道11号の東かがわ市中心部における慢性的な渋滞の緩和および交通安全の確保を図るとともに、高松自動車道白鳥大内ICへのアクセス強化を図り、地域経済の発展に寄与するバイパス道路である。

平面図

事業計画等

○事業着手：平成12年度
○整備区間：香川県東かがわ市伊座～香川県東かがわ市小砂
○事業延長：9.2km（開通済 4.5km）
○標準幅員：17.0m（完成2車線）
○構造規格：第3種第2級、第4種第1級

標準断面図

4車線区間（1～3工区）（単位：m）

費用便益分析結果

○全体事業費：309億円（前回（H27）再評価時：281億円）
○計画交通量：8,800～19,300台/日（前回（H27）再評価時：4,100～21,700台/日）
○費用便益比：事業全体：1.03 残事業：3.0（前回（H27）再評価時 事業全体：1.3，残事業：2.4）

主な事業効果等

○国道11号 東かがわ市中心部の慢性的な渋滞の緩和および事故危険区間の解消。
○白鳥大内ICへのアクセス強化により、地場産業（手袋産業）や大内工業団地立地企業などの物流の効率化を支援。
○二次医療施設（県立白鳥病院）への搬送時間を短縮による、救急患者の救命率の向上。
一般国道11号 大内白鳥バイパス

整備効果事例

○ 国道11号は、東かがわ市の市街地部を通過しており、朝夕のピーク時には旅行速度が20km/h台となる区間が存在。
○ 大内白鳥バイパスの部分開通による交通分散により、現道交通量の減少が期待される。
○ 大内白鳥バイパスの整備により、旅行速度の向上、渋滞の緩和が期待される。

【現道とバイパスの交通量の変化】

1. 断面交通量
   - 現道交通量
   - バイパス交通量

資料 国土交通省調査（7:00～19:00 12時間交通量）
H25.10：H25.10 22、H27.4：H27.4 22、H30.7：H30.7 24

凡例

- 高速道路
- 一般国道（指定区間）
- 一般国道（指定区間外）
- 主要地方道
- 一般県道
- その他の道路
- 主要渋滞箇所

混雑時旅行速度

- 20km/h～30km/h以下
- 30km/h～40km/h以下
- 40km/h以上

資料）混雑時旅行速度：ETC2.0ブロードデータ
（H29.4～H30.3 日平土日・下り17:00～18:00の平均旅行速度）
一般国道11号 大内白鳥バイパス

事業費増加

〇当初擁壁工等の基礎地盤の改良を見込んでいたが、擁壁工指針改訂（平成24年7月）に伴う設計上の載荷重方法の変更により、地盤の改良深さ・範囲が増加し、事業費が26億円増加。

【擁壁工指針の改訂による改良深さへの影響】
設計上の載荷幅の変更（擁壁基礎の偏心を考慮）により、面積あたりの荷重が増加。より深い層での支持が必要となり改良深さが増加し事業費が増加した。

【地盤の改良範囲】
基礎地盤の改良範囲
当初改良範囲  L=3,160 m  (V=30,300m³)
変更改良範囲  L=4,520m  (V=193,800m³)

事業費変化の内容

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業費の変化</th>
<th>事業費変化の内容</th>
<th>合計</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>〇指針改定に伴う擁壁基礎地盤の改良深さ増加による事業費増</td>
<td>26億円増</td>
<td>28億円増</td>
</tr>
<tr>
<td>新たな遺跡判明に伴う埋蔵文化財調査範囲拡大による事業費増</td>
<td>2億円増</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
一般国道11号 大内白鳥バイパス

前回再評価時からの事業進捗見込み等の変化

○事業進捗率 約81% H30.3末（前回約62% H27.3末）
○用地進捗率 約76% H30.3末（前回約72% H27.3末）
○平成30年7月16日に3工区の東かがわ市西村～松崎間1.2kmを暫定2車線開通。以て、東かがわ市白鳥～松崎間の4.5km暫定2車線開通済み。
○3工区の東かがわ市松崎～土居間（L=1.4km）は、用地買収・改良工事を推進中。
○1工区 東かがわ市伊座～白鳥間（L=2.1km）は、H30より改良工事に着手。
○4工区 東かがわ市土居～小砂間（L=1.2km）は、H30より用地買収に着手。

地域から頂いた主な意見等

○香川県道路協会、東かがわ幹線道路整備促進期成同盟会から、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。
H27.6、7、11、12、H28.2、5、6、8
H29.5、6、7、8、11、H30.1、2

県知事の意見

事業継続について異議はありません。
国道11号は、県内を貫き徳島・愛媛両県に通じる本県の重要な幹線道路であり、大内白鳥バイパスの整備は、東かがわ市付近における現道の交通混雑の緩和を図るとともに、高松自動車道白鳥大内インターチェンジへのアクセス強化を図るなど、東讃地域の振興・発展に寄与する重要な事業であることから、早期の全線開通を目指し、より一層の事業推進をお願いします。

対応方針（原案）

○事業継続